

アンリツの社会的責任(CSR)

アンリツグループは、誠と和と意欲をもって、“オリジナル&ハイレベル”を核とした知の製造業によるソリューションの提供を通して企業価値を向上し、社会全体から成長・発展を望まれる企業となることを目指します。

CSRの推進体制

2004年11月に発足したCSR推進委員会では、社長が委員長を務め、経営トップ自らがCSRの推進を牽引しています。また、多岐にわたる部門の活動を統一的に推進するために、CSR推進室を設置しました。このCSR推進室は、コンプライアンス(倫理法令遵守)を推進する法務部や内部統制を推進する内部統制推進室と密接に連携しながら活動しています。また、CSRへの取り組みに関して、社会との対話を行う窓口としての役割を担っています。

CSRは一部門、一組織だけで実現できるものではなく、アンリツ全部門およびグループ会社の協力なくして成功はありえません。そこで、実効ある活動を進めるために、CS・品質、人権、社会貢献など、CSRの各領域を主管する当社の担当部門を中心に、グループ会社と横断的な連携をとり、CSR推進室が事務局となって活動を推進しています。

本業によるCSR

アンリツグループは、コミュニケーション基盤となる情報通信ネットワークの発展を支えている計測器、情報通信機器やネットワークのサービス品質保証ソリューションをはじめ、電子部品の精密計測機器、食品・医薬品の異物検出機など多岐にわたる分野で事業を展開しています。アンリツグループが、企業としての社会的責任を果たすためには、機能・性能、そして環境面でもお客様や、社会からご満足いただける製品・サービスを提供し、本業を通じてさまざまな形で社会に貢献することが第一義であると考えています。近年では、独自技術を活かした社会貢献にも注力しており、離れた場所からでも瞬時にメタンを検出できるレーザガス検知器や、東北大学の地雷探査レーダープロジェクトへの協力にも取り組んでいます。また、環境面では、環境負荷を可能な限り低減した環境配慮型製品の開発を、世界各国の開発・製造拠点と連携しながら進めています。

対人地雷除去のための地中レーダーに使用される測定器を東北大学へ提供

アンリツは2002年、東北大学東北アジア研究センターと共同して、独立行政法人科学技術振興機構(JST)が主導する「人道的対人地雷探知・除去技術研究開発推進事業」に参加しました。以来、地中レーダーを金属探知器と併用し、従来の金属探知器による地雷探知の効率と精度を大幅に向上させた探知器の実現に、通信機器の回路やデバイスの高性能・高周波特性測定で実績のあるベクトルネットワークアナライザの提供などで貢献しています。

アンリツは、社会的課題解決への挑戦を通して、企業活動と社会との調和を目指しています。



グローバルな環境管理体制の構築

アンリツは近年、売上高に占める日本国外の比率が高まっており、当期の実績では約50%が日本国外となっています。

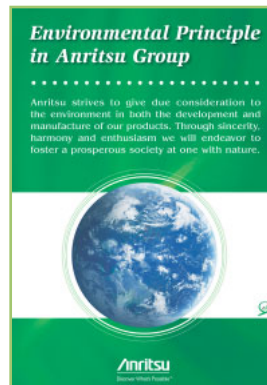
また、アンリツはアメリカ、イギリス、デンマーク、フランスなどに開発や製造の拠点を有しており、グローバル化の進展に伴い、今後も日本国外の売上はさらに拡大することが予想されています。

このような状況のもと、環境経営もグローバルに展開していくことが経営上の重要課題です。

この課題解決への第一歩として、2005年秋に、第1回グローバル環境管理会議を開催し、アンリツグループの環境理念の浸透と啓発からスタートしました。第1回目の会議では、アンリツグループの環境理念を再確認し、環境理



グローバル環境管理会議風景



環境理念啓発ポスター

念のポスターを、海外アンリツグループの開発拠点に掲示することを合意しました。

また、EU指令対応を目的として、このグローバル環境管理会議の下部機関に設置されたWEEE^(注15)対策会議およびRoHS^(注16)対策会議では、2005年8月に施行された廃製品の回収とリサイクルに関するWEEE指令への対応、および2006年夏に施行される製品への有害物質含有を規制するRoHS指令への対応をグローバルに推進しています。現在、RoHS指令では、アンリツグループの主力製品である計測器や重量選別機は対象外になっていますが、有害物質を製品に使用しないことは企業の社会的責任ととらえ、有害物質を含まない製品の開発を環境経営の重要な課題のひとつに挙げて、グローバルな体制で取り組んでいきます。

(注15) WEEE: 廃電気・電子機器リサイクル指令。

(注16) RoHS: 電子・電気機器に含まれる特定有害物質の使用制限指令。



グローバルコンパクトへの賛同

2006年3月、アンリツはグループ全体のCSR活動をさらに定着させ、発展させるため、国際連合が提唱する「グローバル・コンパクト(以下、GC)」に賛同しました。

GCの趣旨および考え方は、「アンリツグループ企業行動憲章」の考え方に合致しており、加えて、GCはグローバル化に起因する国際社会におけるさまざまな課題に対処するための世界的なフォーラムとして、意見交換と実践の場であることから、今回の参加となりました。今後も、すべてのアンリツグループがCSRに対する意識を一層高め、GC参加団体との情報交換およびGC参加企業としての取り組みを通して、グループ全体のグローバルな事業活動のあるべき姿を描き、より広い視野をもってCSR推進活動の向上に努めていきます。